

りか
李佳 准教授

〃 出身地 中国・遼寧省 〃

専門分野

中国語教育

Q 担当科目を教えてください。

A

【専修中国語初級】

この授業では、中国語で「自分の考えを伝える力」を身につけていきます。中国語が初めてでも大丈夫です。一歩ずつ、一緒に進んでいきましょう。自分でテーマを決めて調べたり考えたりしながら、発表にもチャレンジします。仲間と学ぶ中で、「どう伝えたらいいかな？」と考える力も自然と身につけていきます。生成AIなどのツールも使いながら、最後は「自分の言葉で話せること」を大切にしています。少しずついいので、自分の声で伝えられるようになっていきましょう。

【ゼミナール】

このゼミでは、自分が興味を持った中国や中国語のテーマについて研究していきます。「これ、ちょっと気になるかも」という気持ちを大切にしてください。発表やディスカッションを通して、お互いの考えを共有しながら、少しずつ自分の考えを深めていきます。最初はうまく言葉にできなくても大丈夫。一緒に考えながら形にしていきたいと思います。「ことばで表現する楽しさ」を感じながら、自分らしい卒業論文を完成させることを目指します。最後に「やってよかった」と思える経験になるよう、しっかりサポートします。

Q 専門分野に関する研究テーマの魅力を教えてください。

A

私の専門は中国語教育です。とくに、日本人学習者がどのように語彙やコロケーション（自然な言葉の組み合わせ）を身につけていくのかに興味があります。中国語を勉強していると、「単語や文法は分かるのに、なんとなく不自然になってしまう」と感じることはありませんか。実は、そういうところこそ、言語を学ぶおもしろさと難しさがあると考えています。私は、コーパス（実際に使われている言葉のデータ）を使いながら、学習者がどのように中国語を使っているのかを見つめ、より自然に表現できるようになるヒントを探しています。また最近、生成AIを使った学習にも関心があります。AIはとても便利ですが、使い方によっては「自分の言葉で話す力」が弱くなってしまうこともあります。だからこそ、「ちゃんと理解できているかな？」「自分の言葉として使えているかな？」ということ大切にしながら、これからの時代に合った中国語の学び方を一緒に考えていきたいと思っています。



Q

先生の人となりを教えてください。

A

大学では中国語学科に所属していて、その頃から中国語が大好きでした。言葉や文化に惹かれて、「どうしてこう言うんだろう?」と考えるのが好きなタイプです。

私にとって中国語は、「勉強するもの」というより、「五感で楽しむもの」です。音として聞いたり、リズムを感じたり、文字を眺めたり、人とのやりとりの中で体験したり、そうした中で、少しずつ言葉のおもしろさが見えてくると感じています。

また、ラジオDJとしての活動も長く続けていて、音楽や言葉を通して、中国語を「音」として楽しむことも大切にしています。

授業でも、「正しく話すこと」だけでなく、「感じること」「楽しむこと」を大切にしてほしいです。中国語を通して、自分なりの発見や「おもしろい!」と思える瞬間に出会ってもらえたら嬉しいです。

Q

学生のみなさんへメッセージを!

A

大学での4年間は、自分の可能性を広げるとても大切な時間です。語学を学ぶときは、「正しさ」だけでなく、「どう伝えるか」「何を伝えたいのか」も、ぜひ大切にしてみてください。

最近、生成AIなど新しい学びのツールも増えてきました。とても便利ですが、あくまでサポートしてくれる存在にすぎません。最後に言葉を生み出すのは、自分自身です。自分のペースで、主体的に学んでいきましょう。

授業やキャンパスでのさまざまな出会いを通して、いろいろな考え方に触れながら、自分らしい表現を見つけていってほしいと思っています。